

勤務条件・勤務地

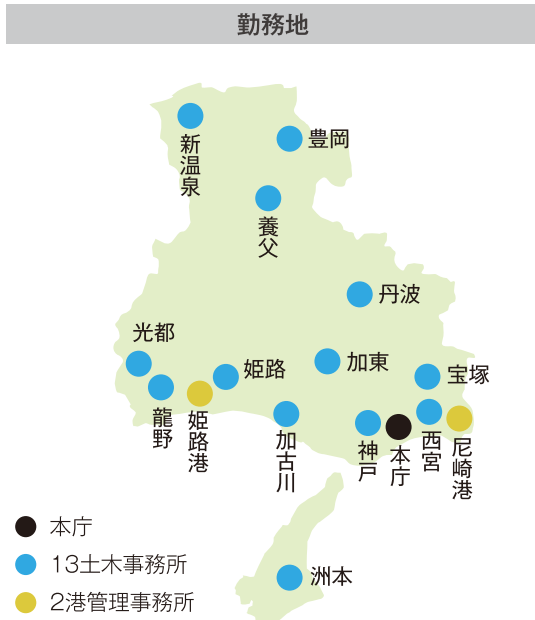
勤務時間
①8:15～17:00 ②8:45～17:30 ③9:00～17:45 ④9:30～18:15 上記4区分から選択可能／完全週休2日制（原則、休日は土日祝及び年末年始）

休暇制度
・年次有給休暇 年間20日（時間単位での取得可能） ・特別休暇（夏季＜5日間＞、結婚＜5日間＞、出産、育児など）

ワークライフバランス
男女が共に働きやすく、仕事と育児、介護などを両立しやすい職場作りを進めています。

産前・産後休暇	出産前後8週間
フレックス タイム制	すべての職員が実施でき、勤務時間を柔軟に割り振ることが出来ます。
介護休暇	要介護者を介護するために6ヶ月以内で取得できます。

*この他にも様々な制度があります。詳しくはHPへ。



研修制度

兵庫県では、人材育成に力を入れており、研修やOJT等を充実させています。

階層別研修	専門研修														
<table><tr><th>養成期間</th><td>実務年数に応じて期間を設定</td></tr><tr><th>基礎知識養成期</th><td>全庁 公務員・県職員としての心構え、基礎知識を修得 1年目 新任職員研修</td></tr><tr><th>技術力養成期</th><td>4年目 職員研修</td></tr><tr><th>中堅職員養成期</th><td>10年目 主任研修</td></tr></table>	養成期間	実務年数に応じて期間を設定	基礎知識養成期	全庁 公務員・県職員としての心構え、基礎知識を修得 1年目 新任職員研修	技術力養成期	4年目 職員研修	中堅職員養成期	10年目 主任研修	<table><tr><th>土木</th><td>土木の基礎知識、工事積算、災害復旧事務の習得等 1年目 新人・フォローアップ研修</td></tr><tr><th>実務研修(OJT)</th><td>実務を通じて基礎知識や技能を習得 先輩職員が、実務を通して積算や工事監理等を指導</td></tr><tr><th>自己啓発</th><td>土木技術者としてのスキルアップを支援 建設技術研究発表会（先進的な取組や研究成果を発表）後輩に伝えること（退職者の経験談を聴く）等</td></tr></table>	土木	土木の基礎知識、工事積算、災害復旧事務の習得等 1年目 新人・フォローアップ研修	実務研修(OJT)	実務を通じて基礎知識や技能を習得 先輩職員が、実務を通して積算や工事監理等を指導	自己啓発	土木技術者としてのスキルアップを支援 建設技術研究発表会（先進的な取組や研究成果を発表）後輩に伝えること（退職者の経験談を聴く）等
養成期間	実務年数に応じて期間を設定														
基礎知識養成期	全庁 公務員・県職員としての心構え、基礎知識を修得 1年目 新任職員研修														
技術力養成期	4年目 職員研修														
中堅職員養成期	10年目 主任研修														
土木	土木の基礎知識、工事積算、災害復旧事務の習得等 1年目 新人・フォローアップ研修														
実務研修(OJT)	実務を通じて基礎知識や技能を習得 先輩職員が、実務を通して積算や工事監理等を指導														
自己啓発	土木技術者としてのスキルアップを支援 建設技術研究発表会（先進的な取組や研究成果を発表）後輩に伝えること（退職者の経験談を聴く）等														

業務内容

道路、河川等の多様な分野で、計画→設計→施工→維持管理のあらゆる段階に携わることが出来ます。

本庁勤務の場合	社会基盤整備に関する基本計画の策定、事業の企画・立案・予算化
地方機関勤務の場合	具体的な事業計画の策定、工事の設計・積算・施工監理等の工事実施に関する一連の業務、施設の管理

主な業務
①防災・減災対策の強化… 地震・津波対策、河川対策、高潮対策、土砂災害対策、減災のための情報発信等 ②社会基盤の充実… 道路整備（渋滞・踏切解消、歩行者・自転車対策等）、下水道整備、公園整備、公共交通の維持・活性化等 ③社会基盤の形成… 基幹道路ネットワークの充実強化、港湾の機能強化・利用促進、空港の有効活用・利便性向上、老朽化対策、水辺の環境づくり、無電柱化の推進等 ④その他… 建設企業等の健全育成、ICT（情報通信技術）の活用等

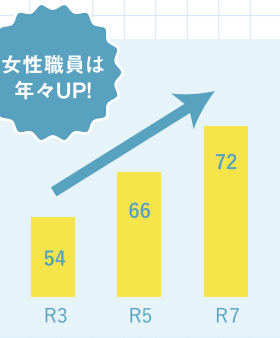
兵庫県ホームページにも業務内容や採用試験の情報を掲載しています

業務内容詳細 ▶

採用試験情報 ▶

土木部総務課
〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1
TEL:078-362-3497 / FAX:078-362-3921
E-mail: doboku_soumu@pref.hyogo.lg.jp

問い合わせ先



Question

1 女性職員はどれくらいいる？

女性の割合は年々増えてます。
女性職員は約1割とまだ少数派。ですが年々増加傾向にあり本庁や現場、また、総合土木職以外の様々な分野でも活躍の場が広がっています。

Question

5 勤務中ってどんな服装ですか？

結構自由です！

兵庫県では通年でノーネクタイ・ノージャケットが認められており、自由度の高い服装で勤務できます。季節や業務内容に応じて、動きやすく快適な服装で働いています。

毎日考えるのが面倒なのでワイシャツオンリー (20代・男性職員)

夏場はポロシャツとかTシャツ。車通勤なので、下は作業着でそのまま帰ります (笑) (30代・女性職員)

綺麗めの格好が好きなので通勤はおしゃれして、勤務中は作業着です。 (20代・女性職員)

Question

7 残業があるかどうか気になります。

正直、部署次第などところはありますが、残業なしの部署も。

配属された部署によってさまざま。ただ、異動直後で仕事に慣れるまでは残業になることが多いようです。なるべく残業がないように、業務効率化の取り組みを県全体で実施中です。

忙しい部署に配属された時は、年間で見ると結構な残業時間になることも。ただ、月によって忙しさに波があるので、メリハリをつけて働いていたと思う。

異動直後は業務に不慣れなのでどうしても残業が増えてしまいます。業務に慣れてくると効率よく進められるようになり、定時で帰る日が多くなってきました。

定時で帰る日が多いので、帰宅後は趣味の時間をしっかり楽しんでいます。

Question

2 異動ってあるの？どんなところに配属されるの？

異動は3～5年程度のサイクルで行われ、本人の希望や適性等を踏まえた配置が行われます。総合土木職は、本庁のほか土木事務所などに配属され、道路・河川・港湾など幅広い分野の業務を経験することで、専門性を高めながら着実にキャリアを積み上げることが出来ます。

3～5年に1回、必ずあります。

特に事務所では、自分のペースで業務を進められるので、担当工事の進捗状況に応じて、休暇を取れています。

異動直後は、業務内容がまだ把握できず、慣れるまでは年休を積極的に取るのが難しいことも。

急な予定が入っても、時間単位で休暇を取得できる制度があるから、柔軟に対応できてます。

Question

3 休暇は取りやすい？

長期休暇は勿論、時間単位もOK
年次休暇は、月に1日以上取得している職員が多く、さらに夏季休暇として5日間の特別休暇も。「私生活との両立がしやすい環境」という声、多数。

Question

4 嫌なわけじゃないですが飲み会は多いですか？

頻度は勤務地によってさまざまですが、参加不参加はご自由に！

歓迎会や忘年会など節目に開催する職場が多い一方、普段の飲み会は勤務地によってさまざま。「同期や若手同士での飲み会も」という声もありますが、「節目のイベントだけ参加」という人も多数です。

飲み会の雰囲気が好きだからよく参加します。本庁は若手が多いので参加する機会が増えたかも。

飲み会はありますが、断っても全く気まずくはない雰囲気なので助かっています。

車通勤の人が多いのでみんな自宅に車を置いてから最寄駅に集合して飲みに行くことも。

Question

10 入庁して1年目、どんなことするの？

メンターの伴走を受けながら、仕事をじっくり覚えられます。

入庁1年目は職員ひとりひとりにメンターがつくOJT型。業務に必要な知識やスキルを仕事をしながら覚えていきます。

本人のCOMMENT

実際に現場へ出ると地図だけでは分からなかった斜面状況なども詳しく知られて仕事が進みます！

本人のCOMMENT

工事期間を決めるにも根拠資料の作成が必要だったり、設計書作成は本当に細かい作業。難しいことが多いですが、少しずつできるようになっていきました！

本人のCOMMENT

メンターの方の打合せに同行。工事がスムーズに進むように、業者の方々と現状や今後の流れについて話し合われている様子を見て、とても勉強になりました。

1年目職員のある1日のスケジュール

- 8:45 出勤 (メールやチャット確認)
- 10:00 事業実施箇所の現地調査
- 12:00 昼休み
- 13:00 調査結果の整理 (写真整理や資料作成)
- 14:00 発注委託業務の積算 (仕様書や設計書の作成)
- 15:30 業者との打合せ
- 17:30 退勤

私たちベアです！

「先輩に何度質問しても、理由から丁寧に説明してくれてうれしかった」そうで、仕事以外にも良い相談相手です。



兵庫県総合土木職採用案内

HYOGO RECRUIT



CONTENTS

兵庫県総合土木職、こんな仕事です。

「民間企業と公務員の違いは？」「残業はどう？」よく聞かれる10の質問

兵庫県総合土木職、 こんな仕事です。

先輩
職員
の
声

「総合土木」と一言でいっても、仕事内容は実に多様。どんな仕事が印象的？
なにが大変だった？どんな日々を過ごしているの？入庁して数年の先輩職員
たちに話を伺いました。



2016年入庁
豊岡土木事務所

土木事務所の大事な仕事のひとつが災害対応です。災害が発生した際は、まず現地調査を行い、被害状況を確認。その後、コンサルタントに測量・設計を依頼し、それをもとに工事費を積算します。そして国の査定を受け、復旧工事を進めています。作業期間が非常にタイトなため、事務所全体で丸となって対応する必要があります。迅速かつ的確な対応が求められるため大変な業務ではありますが、復旧工事が完了した際には住民の方々から「これで一安心やわ」「ありがとう」といった温かい言葉をいただくこともあります。災害対応は責任が大きい仕事ですが、地域住民の命と暮らしを守るために欠かせない非常に重要な業務だと日々強く感じています。

01

熊本県での豪雨災害復旧事業に1年派遣。 土木職としての責任と使命感を強く感じた日々。

令和4年度、熊本県球磨村役場に派遣され、豪雨災害からの復旧事業に携わりました。災害から2年近く経過していましたが、現地には数多くの壊れた道路や河川、住宅、鉄道が、技術職が不足する中、応援職員として頼られ、住民の方々から「この道、通れるようになってくれてありがとう」「遠くから応援に来てくれてありがとう」と感謝の言葉をいただき、土木職としての責任と使命感を強く感じた1年でもありました。復旧工事の最中には新たな豪雨災害も発生し、村内の被災箇所の調査や災害査定にも対応。他自治体からの技術職の方々と協力しながらの日々は、多様な視点や知見に触れることができ、チームで前向きに取り組むことで得られる一体感は、忘れられない経験となりました。



2012年入庁
土木部道路企画課

02



2021年入庁
洲本土木事務所

04



2017年入庁
龍野土木事務所

予算や計画も、港湾も空港も。 知識をひとつひとつ自分に落とし込む。

県の仕事は予算要求や計画立案から携われるし、道路や河川の他に、港湾も空港などもあって、とにかく規模が大きい。だから県の土木職ってすごく広い知識が必要だないつも感じます。例えば、去年まで河川の担当だったのが、今年から急に道路の担当になって道路の知識が必要になる。それが大変だし、正直、しんどい時もあります。でも任された仕事を大小関係なくひとつひとつ根拠を追って自分の中に落とし込んでいけば、点と点がどんどん繋がって、自分の力になっていってるとなっていく実感があります。スペシャリストを目指す方もいらっしゃいますが、僕はゼネラリストになりたい。そんな自分にとっては、そうやって経験を積み重ねていけることがとても嬉しいです。

03

土木職のイメージを改善できる、 リクルート活動にも挑戦したい。

西宮土木事務所在籍時に道路拡幅事業に関わりしました。何十年も前から事業化はしていたものの、用地買収ができなくて、事業が完了しない案件でした。上司や用地担当の方と力を合わせ、住民の方々に説明をすることで、最後まで残っていた2件を説得し、相互通行できるまで持っていくことができて。その後異動になりましたが、地元の方から「すごく頑張ってくれたおかげでいい道路になった」という言葉をいただいた時は、すごく嬉しかったです。土木職ってキツイ現場作業で汚れるってイメージが出来上がってしまっていたり、自分自身も就職活動中、本当に知りたい情報が手に入りにくかったりとハードルを感じていました。なので、今後はリクルート活動にもチャレンジしてみたいと思っています。

05



2017年入庁
宝塚土木事務所

05

個性的でバラエティ豊かな たくさんの公園に関われることが魅力的。

現在は、公園に関する業務に携わっていますが、自分の仕事によって公園がきれいになったり、利用しやすくなったりと、成果が目に見える点に大きなやりがいを感じています。公園関係の予算を担当し、公園緑地課と連携しながら追加の要望を調整した結果、例年より多くの予算を確保できたことがありました。その際、指定管理者の方から「傷んでいた箇所をたくさん修繕できてよかった」と感謝の言葉をいただいた時は嬉しかったです。県が管理する公園は非常に個性的でバラエティ豊か。そうした多様な公園に関わる機会があることは、造園を学んだ者として非常に魅力的であり、今後も地域の魅力向上に貢献していきたいと考えています。



2019年入庁
加古川土木事務所

06

私は民間企業からの転職組ですが、これまで関わってきた中で一番印象に残っているのは浜坂道路の事業です。道路建設のための用地買収の交渉の際、地元の方との協議が難航した局面がありました。納得いただけるように、そこから事業者さんと数ヶ月かけて案を再検討。OKをいただいた時は本当に嬉しかったです。もちろん大変は大変でしたが、ひとつの目的に向かっていろんな視点から議論をして前に進めていった達成感、そしてなにより県職員は地元の方との距離が近い分、喜びも民間時代よりも大きいです。部署異動で担当が変わりましたが、趣味の旅行がてら、いまでも現場を見に行くことも。土木職の仕事はひとりではできません。だからこそ色々な方とセッションしながら、これからも地図に残るような仕事に関わり続けたいと思っています。

ワークライフ
バランス

育休もOJTも在宅制度も。 県職員の今の働き方とは。

育児
休業
制度

子どもが3歳になるまで取得可能。
女性職員は100%、男性も85%取得しています。
お子さんが3歳になるまで休業ができる制度です。女性の取得率はなんと100%！男性も85.8%と高く、性別に関係なく、育児と仕事を両立できる環境が整っています。育児休業から復帰したあとでも、育児部分休業（1日につき最大2時間、勤務時間を短縮できる）もあり、制度を活用しながら、仕事と育児を両立されている方がたくさんいます。



午前は在宅勤務、 午後は年休でライブへ、もOK！

自宅で勤務ができる制度。取得は最大週4回まで、1日単位または半日単位で利用可能。通勤の負担を減らしながら、柔軟な働き方が可能です。例えば、子どもの学校が休みの日は在宅勤務に切り替えたり、午前中だけ在宅勤務をして、午後は年休を使ってライブや野球観戦に出かける…なんていう使い方もできます！

在宅
勤務
制度

子育て
支援
休暇

子どもの急な体調不良にも 柔軟に対応できます。

お子さんの義務教育が終わるまでは、年5日間（お子さんが2人以上なら10日間）の「子育て支援休暇」を取得できます。この休暇は1時間単位でもOKなので、子どもの発熱など急な対応や授業参観などの行事にも柔軟に対応できます。



制度
を活用
した
職員
の声

制度はもちろんフル活用。 職場の理解もありがたいです。



産休・育休を1年4ヶ月取得し、復帰後は育児部分休業を活用して勤務時間を短縮。子どもの保育園のお迎えにも無理なく対応できています。仕事と育児の両立は簡単ではありませんが、職場の理解と支援のおかげで、安心して働くことができます。時短勤務や子育て支援休暇などの制度も充実しており、子どもの急な体調不良にも柔軟に対応できます。妊娠中から通勤時間の調整などの配慮をいただき、復帰後も丁寧な引き継ぎや温かい声かけなど、職場全体で支えていただきました。子育て中でも安心して働ける環境だなと感じています。
（豊岡土木事務所／2016年入庁）

制度
を活用
した
職員
の声

育児に真剣に向き合えたことで、 仕事のモチベーションもアップ。



長女が2歳、長男が6ヶ月のタイミングで6ヶ月間の育児休業を取得。オムツ替え、離乳食作り、寝かしつけなど、毎日やることが多く、想像以上に忙しい日々でしたが、子どもたちとじっくり向き合えたのも、やはりこの期間。育休を通じて、育児への関わり方が大きく変わり、長女がとても懐いてくれるようになりました（笑）。育児に真剣に向き合えたことで、仕事へのモチベーションにもつながりました。ここ数年で制度が整い、所属長からも育休取得を後押しされるなど、男性の取得が当たり前になってきたと実感しています。
（土木部道路企画課／2012年入庁）

WORK-LIFE BALANCE